

保育園訪問ボランティア

1. 活動時期 2025年7月上旬

中学1年 宮下 英美理

2. 活動の概要

保育園の子供たちとふれあい、一緒に遊びます。あくまで子供たちに楽しんでもらうため、保育園の先生方にも協力していただき、私たちはサポートにつきます。この時、注意すべきなのは、取り残される子供や一人の子供をつくらないことです。特に「じゃんけん列車」などのグループでする遊び、また「だるまさんがころんだ」など子供たち自ら動く遊びでは、子供たちの様子をしっかりみる必要があります。

3. 感想

「大変そうだな」というのが、活動内容を初めて聞いて思った正直な感想でした。ですが、保育園訪問を希望された先輩方の「大変だけれど、とても楽しい」というお話を聞いて、考えが変わり始めました。

まず、遊びの内容を決め、保育園の子供たちへのプレゼントとなるうちわ作りをしました。中学一年生なので、分からないことも多かったのですが、先輩方や先生方からのアドバイスをいただき、順調に準備を進めることができました。

ついに当日を迎え、私の心は緊張であふれていました。保育園の門をぬけ、目に飛び込んできた小さい子供たちの姿に私は思わず、足を止めました。楽しそうな子供たちの笑い声に笑顔、愛らしいその姿に私の頬はゆるみ、日頃の疲れも吹き飛んでしまいました。そこから説明を受け、ようやく子供たちと遊ぶ時間となりました。子供たちの可愛らしさに癒されながらも、遊びは順調にすすんでいきました。ですが、ここからが大変でした。「宝探しゲーム」をして遊んでいたとき、宝物として隠されている折り紙を一個も見つけることが出来なかった子がいたのです。私はそのことに気づいてはいたものの、どうしようかとおろおろするばかりでした。その時、先輩がすぐさま折り紙を見つけやすい場所に隠したのです。先輩の行動によって、その子は宝物を見つけることが出来ました。

最後、帰る時間になった私たちに小さな可愛らしい子供たちが「ばいばい」と手を振り続けてくれた姿は私の瞼に焼き付く忘れられない光景となりました。